



- 15:1 テマン人エリファズが答えて言った。
 15:2 知恵のある者は
 むなしい知識をもって答えるだろうか。
 東風によってその腹を満たすだろうか。
 15:3 彼は無益なことばを使って論じ、
 役に立たない論法で論じるだろうか。
 15:4 ところが、あなたは信仰を捨て、
 神に祈ることをやめている。
 15:5 それは、あなたの罪が
 あなたの口に教え、
 あなたが悪賢い人の舌を選び取るからだ。
 15:6 あなたの口があなたを罪に定める。
 私ではない。
 あなたのくちびるが
 あなたに不利な証言をする。
- 15:7 あなたは最初に生まれた人か。
 あなたは丘より先に生み出されたのか。
 15:8 あなたは神の会議にあずかり、
 あなたは知恵を
 ひとり占めにしているのか。
 15:9 あなたが知っていることを、
 私たちは知らないのだろうか。
 あなたが悟るものは、
 私たちのうちに、ないのだろうか。
 15:10 私たちの中には白髪の者も、
 老いた者もいる。
 あなたの父よりもはるかに年上なのだ。
 15:11 神の慰めと、
 あなたに
 優しく話しかけられたことばとは、
 あなたにとっては
 取るに足りないものだろうか。

- 15:12 なぜ、あなたは理性を失ったのか。
 なぜ、あなたの目はぎらつくのか。
 15:13 あなたが神に向かっていらだち、
 口からあのようなことばを吐くとは。
 15:14 人がどうして、きよくありえようか。
 女から生まれた者が、
 どうして、正しくありえようか。
 15:15 見よ。神はご
 自身の聖なる者たちをも信頼しない。
 天も神の目にはきよくない。
 15:16 まして忌みきらうべき汚れた者、
 不正を水のように飲む人間は、
 なおさらだ。

エリファズの言い分はどれも正しいものです。
 またヨブについても「祈ることをやめている」
 「知恵をひとり占めしているのか」など、まさに
 痛いところを突いてきます。（「能なしの医者」
 と言われたからでしょうか。）

しかし自分の正しさを主張することが、御心と
 は限りません。神の目からはヨブの方が正しい人
 なのです。論争になってしまったときは、「どち
 らが正しい人か」ではなく「主の御心は何か」に
 心を向けなければなりません。ヨブ記の場合はま
 ず、神が「正しい」と言ってくださったヨブが、
 最初に御心を悟りました。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
 約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願い
 など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
 の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

